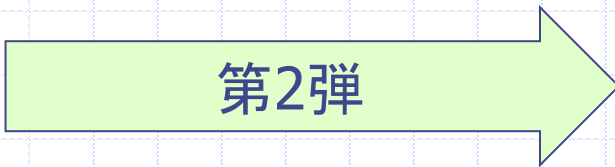
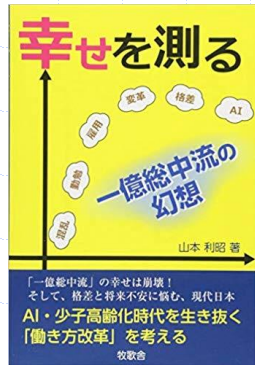


第167回講演会

コロナは転機

2020/9/19
山本 利昭



凝縮の 社会革命



山本利昭著

縮こまっていたは、進めない。

贅肉を削ぎ落とし、筋肉を鍛錬する
日本再生のビジョンを示す。

◆ 「幸せを測る」は

- なぜ日本の製造業がダメになったかを自分の経験をベースに纏めたもの
- しかしそれでは、製造業の未来、日本の未来は描けない。

◆ 「凝縮の社会革命」は

- 日本再生の戦略構想にトライ

売るためのアクション

◆ 共著者

- 志柿さん追加

◆ タイトル

- 凝縮社会論
- 凝縮の日本再生戦略
- 令和の社会革命
- 凝縮の社会革命
- コロナで見た凝縮の社会革命
- 凝縮の社会革命
- 「凝縮」の社会革命

◆ サブタイトル

- 飽食から、幸せと多様性へ
- 飽食から、「幸せ」と「多様性」へ

◆ デザイン

- 文字だけカバー

目次構成

◆ 第1部 構想編

- 幸せと多様性を目指す社会革命 ★

◆ 第2部 分析編

- 第1章 幸せの現実 ★
- 第2章 未来はどうなるだろうか ★
- 第3章 時代は変わる ★

◆ 第3部 政策編

- 第4章 「働く幸せ」の実現 ★
- 第5章 少子高齢化時代の生活保障
- 第6章 復活、日本列島改造論
- 第7章 政治改革は待ったなし
- 第8章 GDPからKPI社会評価へ

◆ 第4部 行動編

- 幸せに向かって ★

当初原稿

暗い

変更版

圧縮(110p⇒95p)

分離・拡張
(70p⇒100p)

「部」の新設・階層化

第2部 分析編

◆ 第1章 幸せの現実

- 3つの格差
 - ◆ 所得格差
 - ◆ 地方格差
 - ◆ 世代格差
- 格差による家庭崩壊
 - ◆ DV/いじめ

◆ 第2章 未来はようになるだろうか

- 技術進歩は止まらない
 - ◆ シーズ先行の技術開発は止まらない
- 少子高齢化の憂鬱
 - ◆ 人口減時代の中での借金の増加
- グローバル化の行く末
 - ◆ 巨大資本の覇権争い
 - ◆ 米中対立、保護主義と独裁

第3章 時代は変わる

◆ 時代が転機にあることの説明

- ◆ 産業の発展サイクル
- ◆ グローバル化の発展段階
- ◆ アタリの未来予測

◆ ビジョンの提示

- 「所得倍増論」、「日本列島改造論」

岸田:「分断から協調へ」 格差是正、地方活性化
石破:「納得と共感の政治」 ⇒ 「グレートリセット」
菅 :「デジタル庁、規制改革」 不妊治療、携帯値下げ

◆ 提案ビジョン:「幸せと多様性を活かす社会へ」(第1部4.)

- 集中か分散か、いや凝縮だ: 飽食
- 凝縮し鍛錬すべきは何か: 幸せと多様性
 - ◆ 幸せ
 - 「幸福」: 抽象的概念としての幸福 ⇒ 一般論としての幸福 ⇒ 所得
 - 「幸せ」: 個人的な私的な幸福感の表現 ⇒ 個々人の幸福を大事にしたい
 - ◆ 多様性
 - 一般的には「多様な種が存在すること」
 - 暗黙的には「淘汰」を前提とした競争の社会
 - 自由競争に任せるから「補助金」はなく、最低限の生存権の確保を目指す

第4章 「働く幸せ」の実現

◆ 背景

- 日本の停滞原因： 官僚/大企業経営者の終身雇用による忖度姿勢

◆ 提案

- リーダーの定年短縮
 - ◆ リーダーの勤続最大年数：20年
- 全国統一の最低賃金
 - ◆ 全国平均：901円、東京：1013円、最低県：790円 ⇒ 4年で全国一律に統合
- 学歴打破と多様な教育の充実
 - ◆ 再就職のための教育

◆ 課題

- リーダーの勤続20年は非現実的？
- リーダーとフォロワーは同じ処遇ルールで良いのか
- 地方の最低賃金を上げると、労働者は良いが、企業は倒産するのではないか
- 高齢者の単価がアップすると、高齢者雇用にはマイナスにならないか

第5章 少子高齢化時代の生活保障

◆ 背景

- ◆ 新型コロナ/台風/地震での生活保障としての補助金

◆ 提案:ベーシックインカム

- ◆ 全国民に毎月大人7万円、子供3万円を支給
- ◆ 所得税:基礎控除、扶養控除等の廃止、税率:30%~70%
- ◆ その他各種補助金の廃止(年金、健康保険等の国庫補助)

■ 効果

- ◆ 災害等による生活不安の緩和
- ◆ 無駄な補助金のための費用(広報・申請受付・審査他)

◆ 課題

- 財政破綻しないかの詳細な数値検証
 - ◆ 健康保険、年金はどうか
- 既存受給者への制度切り替えの補償

第6章 復活、日本列島改造論

◆ 背景

- 新型コロナ対策での地方知事の頑張り
- ふるさと納税、IR特区構想、コンパクトシティ計画、デジタル庁構想
- 日本列島改造論は、地方の活性化のキーになったのではないか

◆ 政策

- 合議型道州制
 - ◆ 過去の道州制： 都道府県を廃止し、州知事が広域市を直接コントロール
 - ◆ 現在の都道府県を廃止することは不可能 ⇒ 都道府県知事による輪番制州知事
- 首府移転と次世代モデル都市の建設
 - ◆ 次世代未来都市のコンセプト具体化

◆ 課題

- 道州制： 権力集中を狙う政権/官僚への対策
 - ◆ 政府⇔州⇔都道府県の権力住み分けルール
- 首都移転への首都圏住人の感情的反発
 - ◆ 首都圏の土地の暴落
- 未来都市の建設コスト想定

第7章 政治改革は待ったなし

◆ 背景

- 2000年以降、政治が国民にビジョンを示せなくなった
- 政治の世襲化と、内閣の独裁強化

◆ 政治改革の提案

- 多選禁止による世襲政治の打破
 - ◆ 同一選挙区から8年を越えて立候補することの禁止(他県からの立候補は可能)
- 参議院の立法員制度によるオープン化
 - ◆ 司法の裁判員制度は効果があった ⇒ 立法への活用
 - ◆ 参議院比例代表の100人を無作為に全国民よりくじで選定

◆ 課題

- 提案の「非現実性」に反論するロジックはあるか
 - ◆ ボス/世襲政治家の多選禁止を迫る論理？
 - ◆ 立法員の任期(例:1年)や政治活動の扱い方

第8章 GDPからKPI社会評価へ

◆ 狙い

- 幸福度達成の目標指標をGDPにしたことが問題。
- 新たなKPI(重要業績評価指標: Key Performance Index)が必要

◆ HLCIの提案(幸せな人生の社会指標: Happy Life Community Index)

- 幸せの対象分野と幸せの達成段階によるマトリクス評価
- 幸せの対象分野
 - ◆ 衣食住、健康、仕事と家庭、教育と文化、社会と行政、環境の6分野
- 幸せの達成段階
 - ◆ 安全、公正、希望、絆、生きがい
- 評価統計指標の選定
 - ◆ $6 \times 5 = 30$ のマトリクスに19指標を抽出

◆ 課題

- 統計指標の集計方法の具体化
- 日本他主要国の統計データ集計による、有効性の具体的な検証

第4部 行動編：幸せに向かって

◆ 背景

- 社会環境の変化
 - ◆ 終身雇用の労働環境は望めない
 - ◆ 仕事があるかどうか分からない
- 高齢者の体力に合った生活設計
 - ◆ 70才越えたら、頭は動かない
 - ◆ 80才越えたら、どのようにして生活するか

◆ 提案

- 各人が、「人生二毛作/三毛作」の人生設計をすること
- 「自律」:自分で考え、発信する。
 - ◆ …… ただ、これでは夢にならない

総括

◆ 今時代は転機に立っている。

- しかし、社会は複雑に絡んでいるから、変革は難しい
- 実体経済は停滞に陥っているのに、災害多発により、社会の福祉向上を求めて大盤振る舞い

◆ それでも、社会変革のビジョンが必要だ。

- 「ビジョン」＝「目標」がないと、人は前には進めない

◆ 一案を書いてみた。

- ただ、実現は不可能と思える位、難しい
- 社会の「革命」と言ってもいいほどだ
- しかも、社会を「凝縮」しようというのだから、無茶苦茶だ。
- さらに、実現の可能性は全くない

◆ それは、夢物語

- 結果的に、「変化しない」ことが最善か

まとめ： 第3弾に向けて

◆ 政策課題の深掘り

- 真の働き方改革
 - ◆ 勤続20年の雇用契約のあり方
 - ◆ 全国一律の最低賃金
- ベーシックインカム
 - ◆ 社会保障関係費用の詳細なシミュレーション
 - ◆ 既存システムからの過渡期の補償対策
- 地方創生
 - ◆ 道州制の移行シナリオ
 - ◆ 未来都市の構想
- 政治改革
 - ◆ 多選禁止のシナリオ
 - ◆ 立法員制度の具体化
- HLCI幸福度指標
 - ◆ 日本他の統計指標の集計

◆ 皆さんのアドバイスをお願いします。